

Information

2021 年度 木村看護教育振興財団公募

●看護研究助成

助成対象▶看護の質的充実・向上が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの。共同研究歓迎。

2021 年度助成する研究の分野▶基礎看護、成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、看護管理、看護教育、その他

応募資格・要件▶

- ①日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人
- ②共同研究の場合は、研究代表者が臨床・地域看護に従事している看護職者とする
- *上記の要件を満たしていない場合は受け付けない（応募者または研究代表者が名前だけの看護職者である場合も認めない）
- ③倫理的に許される研究であること
- ④関係所属長の許可・推薦があること
- ⑤研究の成果は関係学会へ発表すること

助成金額▶1件につき100万円を限度

助成金の使途および報告▶

①助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人件費は対象から除外（ホームページの別紙「研究助成費目一覧」参照）。

*助成金は年度を超えて支出してもかまわない

②助成金の使途については、正規の報告書とともに報告してもらう。なお、必要に応じて領収書等を添えて詳細な報告をしてもらうことがある。

応募方法▶下記ホームページの「2021 年度 看護研究助成申込書」に必要事項を記入の上、本財団へ郵送

*選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒（84円切手貼付）を同封のこと

申込締切日▶2021 年 1 月 21 日(木)必着

選考結果▶3 月下旬に通知

助成金の贈呈▶6 月中旬予定

*助成が決定した研究の代表者は後日「助成金交付請求書」を提出

研究成果の報告▶研究の成果および助成金の使途状況について、2022 年 9 月 30 日までに本財団所定の様式により報告。研究成果は、2023 年 7 月頃に発行予定の「木村看護教育振興財団—2021 年度看護研究助成事業—『看護研究集録 30 号』」に掲載。本研究の成果を関係学会等に発表する際には、公益財団法人木村看護教育振興財団助成による研究である旨を明記のこと。また、研究報告書の学会誌等への投稿は、当財団の研究集録 30 号に掲載し発行された後で行うこと。

●専門看護師（CNS）奨学金助成

募集分野▶2020 年 9 月時点で公益社団法人日本看護協会専門看護師制度委員会が特定している次の 13 専門看護分野について募集（がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護）

支給対象者▶看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程 2 年コースの 2 年次進級予定者で、次の①②を満たしている者

- ①大学院は、日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学院の当該課程に在籍している者
- ②臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給額▶年額 60 万円

支給期間▶1 年間（4 月から翌年 3 月まで）

支給条件▶看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し、修学中の者で 2022 年 3 月に同課程修了後、専門看護師として必ず資格認定を受け、認定された看護専門分野の臨床に 2 年以上就業することを確約できる者。ただし、支給条件に反した場合には、奨学金の返還を求める。

奨学金申請手続きに必要な書類▶

- ①本人記載の申請書
- ②専門看護師としての将来展望、抱負
- ③1 年次前期の成績証明書
- ④指導教員の推薦書
- ⑤3 年以上の実務経験（全て）を証明する書類

*②の書面の様式は自由。ワープロ 1200 字程度を上限に A 4 版で記載すること

*③④についてはそれぞれ封印されたものを同封すること

*⑤は必要に応じてコピーして使用のこと

*要綱、応募用紙は下記ホームページ申請書申込フォームに必要事項を記入し、ダウンロードして使用のこと

奨学金受給者の事後報告義務等▶証明に関するものは、その都度速やかに提出すること

①大学院修士課程、専門看護師教育課程の修了を証明するもの

②専門看護師の認定を証明するもの

③就業先の在籍を証明するもの

④氏名や住所等の変更

申込締切日▶2021 年 1 月 21 日(木)必着

選考結果▶3 月下旬に通知

*選考結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒（84円切手貼付）を同封のこと

【以下共通】

問い合わせおよび申込書送付先▶公益財団法人木村看護教育振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14 8 階

☎ 03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉ kimura-info@nurseed.jp

http://www.nurseed.jp/

第 24 回日本遠隔医療学会 学術大会 (Web 開催)

日程▶2021 年 2 月 11 日(木)～25 日(木)

テーマ▶遠隔医療：時空を超える絆

プログラム▶シンポジウム（国内プログラム）①「最新技術」、②「新しい無線通信方式 5G が遠隔医療にもたらすもの」、③「遠隔医療の新たな活用（医療 DX）」、④「大災害を迎え撃つ遠隔医療の挑戦」、⑤「COVID-19 第 1 波到来事の遠隔医療の活用と第 2 波への備え」、⑥「デジタルパソロジー（DP）画像におけるカラーマネジメント」／特別教育講演「オンライン診療の適切な使い方と可能性」／シンポジウム（国際プログラム）①「Application of new

technology to telemedicine], ②「コロナウイルスへの遠隔医療の活用（精神科領域）」, ③「テレナーシング実践による利用者支援」, ④「Location flexible trial」, ⑤「Covid-19 に対する遠隔医療の活用」, ⑥「禁煙支援への遠隔医療の応用（案）」/ ISFteH JTta 共同教育講演①「病理画像のデジタル化の現状と課題」, ②「オンライン診療」, ③「産婦人科医療」/ 分科会セッション/ 学会長講演/ 大会長講演/ 一般演題ほか

参加費（通常登録）▶ 会員・関連学会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円, 学生 4000 円
問い合わせ先▶ 運営事務局
〒371-0805 群馬県前橋市南町 2-65-1
群馬コングレスサポート内
☎ 027-260-9014
FAX 027-260-9004
✉ jtta2020@gc-support.jp
<http://www.gc-support.jp/jtta2020/jp/>

第 48 回日本集中治療医学会 学術集会 (Web 開催)

ライブ配信▶ 2 月 12 日(金)~14 日(日)
*オンデマンド配信の予定あり
テーマ▶ 集中治療の研究推進と国際発信力の強化
問い合わせ先▶ 運営事務局
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10
住友成泉小石川ビル 6 階 サンプラネット
メディカルコンベンション事業部内
☎ 03-5940-2614
FAX 03-3942-6396
✉ jsicm48@sunpla-mcv.com
<https://www.jsicm.org/meeting/jsicm48/index.html>

第 31 回日本サイコネフロロジー 学会学術集会・総会 (現地開催+Web 開催)

現地開催▶ 2 月 13 日(土)~14 日(日)
ライブ配信▶ 2 月 13 日~14 日
オンデマンド配信▶ 2 月 13 日~28 日(日)
会場▶ ホテルガーデンパレス (埼玉県熊谷

市)
テーマ▶ 未来の想像—サイコネフロロジーの根を張ろう

プログラム▶ シンポジウム「日本サイコネフロロジー学会のあり方」「患者の生活を支える取り組み—看護師からの便り」/ ワークショップ「透析非導入・中止にまつわる問題」「透析と自殺・死にまつわる問題」「献腎移植をめぐるサイコネフロロジー」「サイコネフロロジーをどのように学問・科学にするか」「スタッフのストレスとその対処」/ 臨床討論「痒み」「痛み」「不眠」「不穏：透析中じっとしていられない」/ 教育講演ベーシック「せん妄の予防とケア（非薬物療法を中心に）」「透析患者さんによく見られる認知症（患者さんから見た世界）」「うつ病への気づき方, 初期対応」「対応が難しいと感じる方との関わり方（自己愛・ボーダーライン）」「身体疾患・治療と関連する適応障害」/ 教育講演アドバンス「認知症患者さんとの接し方の工夫」「患者さんとのこのころの距離の守り方」「腎不全医療と社会資源」/ 次回大会長講演/ 春木記念賞受賞講演/ ランチョンセミナー「遺伝性疾患の腎臓病サイコネフロロジー（仮）」「在宅透析とサイコネフロロジー（仮）」「ポリファーマシー関連（仮）」「がん治療と腎臓病のサイコネフロロジー（仮）」/ スポンサーセミナー「高齢患者の透析ケア（認知症）（仮）」「療法選択とサイコネフロロジー（仮）」「バスキュラークセスのサイコネフロロジー（仮）」

参加費▶ [事前登録] 正会員・施設会員登録の職員 5000 円, 非会員 8000 円, [通常登録] 正会員・施設会員登録の職員 7000 円, 非会員 1 万円, 学生 1000 円

参加登録締切▶ [事前登録] 1 月 15 日(金)まで, [通常登録] 1 月 16 日(土)~

問い合わせ先▶ 運営事務局
〒456-0058 愛知県名古屋市中熱田区六番 3-5-3 S-FORT 六番町 204 ちたクリエイティブ内

☎ 052-265-9997
FAX 052-308-5229
✉ 31jspn@cop-chita.com
<https://cop-chita.com/31jspn/index.html>

第 25 回聖路加看護学会 学術大会 (Web 開催)

ライブ配信▶ 2 月 20 日(土)

オンデマンド配信▶ 2 月 20 日~3 月 5 日(金)

テーマ▶ すべてのひとの発達に関わる看護—その人らしい豊かな経験を支える

プログラム▶ 大会長講演「その人らしい豊かな経験を支える看護—発達への関わり」平林優子（信州大学）/ 教育講演「アタッチメントの生涯における機能—研究的視点から」久保田まり（東洋英和女子大学）/ 特別講演「どんな人もそのひとらしくやりたいことを」戸枝陽基（むそう）/ シンポジウム「豊かに生きるための意思決定支援」: 「遺伝看護の支援」御手洗幸子（NTT 東日本関東病院）, 「移行支援」落合亮太（横浜市立大学）, 「がん看護の支援」高橋美賀子（聖路加国際病院）/ ミニ講座①「システマティックレビューを学ぼう」大田えりか（聖路加国際大学）, ②「赤ちゃんから高齢者までの針穿刺に伴う苦痛緩和」吉田奏（聖路加国際病院）, ③「認知症とともに生きる人を支える」滝口美重（聖路加国際病院）, ④「あなたに最適のマスク（仮）」大西一成（聖路加国際大学）, ⑤「COVID-19 に向き合う感染対策（仮）」坂本史衣（聖路加国際病院）

参加費▶ 学会員 5000 円, 非学会員 6000 円, 学生（大学生・大学院生）3000 円

参加登録締切▶ 1 月 29 日(金)まで

申込方法▶ 学術大会ホームページの「事前参加登録」から申込後, 郵便振替にて払い込み。

問い合わせ先▶ 事務局
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
聖路加国際大学看護学部小児看護学内

☎ 03-3543-6391
✉ 2020slnr25@slcn.ac.jp
<https://slnr25.net/>

第 38 回日本ストーマ・排泄 リハビリテーション学会総会 (現地開催 + LIVE 配信)

日程 ▶ 2月26日(金)～27日(土)

会場 ▶ 福岡国際会議場 (福岡市)

テーマ ▶ 実践と検証—経験を科学する

プログラム ▶ 特別講演「災害医療の実践」
山下典雄 (久留米大学) / ランチョンセミナー「イーキンう！ こんなふうに使ってみた！ トラブルも解決できるノウハウ教えます」 工藤礼子 (国立がん研究センター中央病院) ほか / 「快適」オストミーマイライフのための「最適」にのびのびするケア」 幸田圭史 (帝京大学ちば総合医療センター) ほか / 「コロナ禍におけるストーマ関連合併症軽減を目指したシンプルなケアを再考する」 西澤祐史 (国立がん研究センター東病院) ほか / 教育講演 / シンポジウム / 特別企画 / ハンズオンセミナー

参加費 ▶ [事前登録] 会員 9000 円, 非会員 1 万円, [当日登録] 会員 1 万円, 非会員 1 万 1000 円, 懇親会 3000 円

事前参加登録締切 ▶ 2021 年 1 月 11 日(月・祝)まで

事前参加登録方法 ▶ 下記 URL の「参加登録はこちら」ボタンより

問い合わせ先 ▶ 運営事務局

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名 2-4-22 新日本ビル 8 階 インターグループ内

☎ 092-712-9530

FAX 092-712-9533

✉ jsscr38@intergroup.co.jp

<http://jsscr38.umin.jp/index.html>

第 35 回日本がん看護学会 学術集会 (Web 開催)

オンデマンド配信 ▶ 2月27日(土) から 2 か月程度を予定

テーマ ▶ ポストゲノム時代のケアを先導する

プログラム ▶ 会長講演「ポストゲノム時代のケアを先導する」 内布敦子 (兵庫県立大学) / 特別講演「Transforming Health

Through Genomics Nursing : Opportunities and Challenges」 Christine Miaskowski (University of California, San Francisco) / 「End of Life を支えるケアの普遍性」 柏木哲夫 (淀川キリスト教病院) / 教育講演「がん医療における Precision Medicine」 中村祐輔 (がん研究会がんプレジジョン医療研究センター) / 「余命を予測するための指標『その時がいつか』を予測する」 森雅紀 (聖隷三方原病院) / 「粒子線治療と看護への期待」 出水祐介 (神戸陽子線センター) ほか / シンポジウム「病院・施設を超え地域全体で紡ぐアドバンス・ケア・プランニング」 木澤義之 (神戸大学) ほか / 「AYA 世代希少がん患者の人生に寄り添い、切れ目のないケアを考える」 今村善宣 (神戸大学) / 「地域・コミュニティで支える緩和ケア—暮らしの場面で暮らせるために」 角田直枝 (茨城県立中央病院) ほか / パネルディスカッション「がん教育—がん医療の最前線を子どもたちにどう伝えるか」 横嶋剛 (文部科学省) ほか

参加費 ▶ 会員 7000 円, 非会員 8000 円, 学生 2000 円

参加登録締切 (2 次募集) ▶ 2月28日(日)まで

申込方法 ▶ 下記 URL の「参加登録 (2 次募集)」より

<http://jscn35.umin.jp/guide/index-1102.html>

問い合わせ先 ▶ 運営事務局

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A あゆみコーポレーション内

☎ 06-6131-6605

FAX 06-6441-2055

✉ jscn35@a-youme.jp

<http://jscn35.umin.jp/>

*掲載している情報は 12 月 4 日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。